

コープ災害ボランティア ネットワークニュース

【第106号】2020年7月
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティア
ネットワーク幹事会
TEL：03-3383-7800

第18回総会議案は、全議案が可決しました。



4月7日に埼玉・千葉・東京・神奈川・大阪・兵庫・福岡の都道府県に発令された、新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言が、5月25日に全面解除となり新規感染者数も減少して、一旦は落ち着いたように見えてましたが、7月に入り再び新規感染者数が増加しまだまだ安心できない日々が続いております。

このような現状を踏まえると、これからも私たち一人ひとりができることを続けることが大事です。まず、ソーシャルディスタンスを保って「3密」を回避すること、こまめな手洗い、人と接する場合にはマスク着用などで咳エチケット、家やオフィスでの換気、そして食事や睡眠で体調管理をすることです。

CO 災ボの活動にも大きな影響が出ています。これから台風など大きな災害が起きる可能性があります。災害が起きた時に被災地へ行き、支援活動やサロン活動は今までのようにできないかもしれません。また活動の柱でもある防災・減災の様々な学習会やワークショップを、どのように工夫すると開催できるのでしょうか。新型コロナウイルス感染に対して何ができるかも含めて、2020年度は移り変わる状況に合わせた活動を、柔軟に進める必要があります。会員のみならずにも意見をいただき、活動を提案していきます。

第18回コープ災害ボランティアネットワーク総会についても、通常の形での開催はできませんでしたが、議決権行使書により、全会員の意思を書面で表明できるようにしました。しかし、総会での議案提案を受けての発言の機会を持つことができず、申し訳ありませんでした。7月3日に東京都生協連会議室で開票を行い、208名の会員から提出いただいた議決権行使書を確認いたしました。ご協力ありがとうございました。



開票管理者2名が、開票立会人の下で開票し、票数を数えました。

議決権行使結果をご報告します

議決権行使書提出数を出席者数とみなし、第1号、第2号議案については総会運営規程の第8条（議決事項の成立要件）に準じ、出席者の過半数以上の議決があり、可決されました。第3号議案は立候補者が規定で定める定員内のため、全員を選出しました。

第1号議案2019年度活動報告	出席208名	賛成205名	反対なし	無効3名
第2号議案2020年度活動方針	出席208名	賛成205名	反対なし	無効3名
第3号議案2020年度幹事選出	10名を選出			

（無効はすべて未記入によるものです）

アンケートから抜粋

地域や生協で防災・減災に取り組んでいるか

活動している：54人

今は活動していない：139人

記入なし：15人

どのような活動に取り組まれているか

居住する団地の管理組合で防災委員◆区内の女子会「BOUSAI」のミーティングに参加◆町会活動で初期消火訓練、炊き出し訓練◆行政区の防災リーダー研修への参加◆区や町会での防災マップ作製とまち歩き◆地元消防団に所属◆職場の災害対策メンバー◆台風被害など被災地のボランティア◆消防訓練に参加◆災害時のアレルギー対応講座◆職場における防災活動に取り組み◆地元避難所運営連絡会◆職場の管理担当として、災害対策を管掌。図上訓練を予定◆三宅島おそうじボランティア◆コープ委員の活動として、防災・減災の備えを組合員に紹介

どのような活動なら取り組めるか

自宅から近い場所での活動◆ハードルの高くない活動◆マンションの総会から活動したい◆自宅での学習や活動。小さなことから◆居住する団地管理組合と周辺地区の合同災害訓練に参加予定◆炊き出しのお手伝い◆防災士の資格取得を目指している◆減災・防災を広める啓発

CO 災ボにやってほしいこと、改善点

広範囲な団体との交流活動、役立ち講座◆防災・減災講座の出前講座◆感染症を見据えた防災対策、心構え、知識を教えてほしい◆引き続き情報提供、様々なテーマで防災・減災を考える取り組み◆徒歩帰宅困難者、エイドステーション設置、炊き出し訓練◆中野以外での防災まち歩き◆地域活動と CO 災ボ活動のコラボ◆自身の住む町で学ぶ、体験する◆定期的な防災・減災活動ワークショップ◆コロナ禍の中での災害対応◆地元での防災ウェブ検定、レクチャー

2020年度の幹事

稲 伸治 (東都生協 職員)
神山 民夫 (こくみん共済 coop 職員)
小松 泰子 (コープみらい 組合員)
佐々木 啓芳 (生活クラブ東京 職員)
中村 佳子 (パルシステム東京 組合員)
西 裕子 (東都生協 組合員)
平野 浩孝 (パルシステム東京 職員)
松本 淳 (東都生協 職員)
宮本 陽子 (コープみらい 組合員)
渡辺 敢 (コープみらい職員)

以上10名の方が選任されました。
また、久保 剛さん、野崎 雅利さんの
2名が今総会で退任されました。

野崎雅利さんより

2020年7月4日以降の、九州地方をはじめとした記録的な豪雨災害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

被災地の「備蓄も物資も全く足りない」状況はよく聞く話ですが、今回の豪雨災害では、コロナによる“支援控え”が顕著だとのこと。災害関連死につながる恐れもあるからなのか、高齢者の体操や子どものケア、物資輸送や炊き出しといった復興に向けての環境整備をサポートする医療チーム以外の様々な団体が現地入りしていた過去の風景とは異なり、今回の豪雨被災地ではそういった支援の兆候が見えず、被災者の健康問題のケアまで十分に手が回っていないのが現状だそうです。

「電気も通らない、水も出ない。今この瞬間に救出されるのを待ち、不安な夜を過ごしている人たちがいる…」想像してみましよう。起きたことをずっと忘れず、関心を持ち続けること以外に、被災地の外から、私(たち)には何ができるのかを…。

2017～2019年度にわたり、代表を務めていただきました。誠にありがとうございました。

アンケートにはたくさんの回答をいただき、その中でも新型コロナウイルスへの不安の声、学習への期待が多く寄せられました。また、講習会の案内などは、メールアドレスを登録していない会員にも知らせてほしいとの要望がありました。CO 災ボ主催ではない企画には募集期間が短い場合があります。なるべく送付するタイミングを合わせますが、引き続きメールアドレス登録のお願いも行ないます。

令和2年7月豪雨の終わりが見えない中で、2020年度のCO 災ボの活動がスタートしました。これからは新しい活動のあり方と方法を、さまざまな状況に合わせて取り組まなければなりません。みんなで考え取り組んでいきましょう。

【お詫び】第18回総会議案書の参考資料「ネットワークニュース第101号」3ページ目が欠落しておりました。東京都生協連ホームページをご覧ください。

